

消費地情報

和歌山県農業協同組合連合会 名古屋事務所



はじめに

本県産の秋冬果実の主力品目の一つであるたねなし柿は8月中旬以降の気温の低下などから着色が進み、前年に比べ1週間程度早い収穫となり、9月上旬から販売をスタートしました。中谷早生など極早生品種は、8月中旬以降、降水量が多く果実肥大は良好となりましたが、軟化などが多発し、品質は平年に比べ不良傾向となりました。極早生品種の収穫は9月下旬に概ね終了し、主力品種の刀根早生柿とスムーズな品種リレーができましたが、後続の平核無柿とは端境が生じてしまいました。

たねなし柿の販売は昨年同様、コロナ禍で平年並みの消費があるか不安が残る中、本年産は集中した出荷がなく引き合いが強い状況が続いたことや、WEB会議や生育動画の配信による産地・消費地間の情報交換の強化によって、販売単価は堅調に推移し、たねなし柿の目標単価である260円/kgを超えることができました。

今回は、名古屋事務所管内において、たねなし柿の売り場拡大や有利販売に向けた消費宣伝活動を実施しましたので、その内容について報告します。

販売コンテスト

意欲的な売場総出!!

重点特約店であるユニー(株)60店舗で、本県産たねなし柿の販売意欲向上と売り場の活性化並びに認知向上をはかるため、9月25日(土)～10月3日(日)の期間、各店舗で本県産たねなし柿の売上伸長率を競う販売コンテストを実施しました。売り場にはポスターや独自P

OP、柿CM動画の放映等、売り場作りに努めていただきました。



意欲的で入賞した売り場



売り場での柿CM動画放送

試食宣伝販売再開!!

名古屋事務所管内の一部量販店では、緊急事態宣言の解除に伴い、感染症対策を講じた試食宣伝販売を実施しました。デモンストレーター の報告書で『「久しぶりの試食宣伝で不安もあったが、お客様は違和感なく試食して頂いた」、「試食するお客様が多かった」』という報告を頂き、大変好評な結果となりました。また、店舗側も『「効果的な売り込みが実施できた」、「次回もぜひお願いしたい」』など肯定的な意見が多くありました。

コロナ禍で久しぶりの試食宣伝販売を実施し、当初はお客様がマスクを外して試食するのかと懸念しましたが、感染症対策を講じた場合、お客様に食べて頂けることを確認しました。



試食宣伝販売

メディアPRをフル活用!!

メディアを活用したPRとしては、(株)テレビ金沢とZ I P-FMで本県産たねなし柿のPRを実施しました。

(株)テレビ金沢では、9月30日(木)に『となりのテレ金ちゃん』(月~金 15:53~19:00 生放送)の番組内でリモート出演し、本県産たねなし柿のPRを実施しました。また、たねなし柿(6玉入り/ケース)の視聴者プレゼントを実施し、総数219名からの応募を頂きました。応募者から頂いた意見として『「これから柿がおいしい季節。まさに旬ネタ情報でうれしい」、「柿が栄養たっぷりということを知らなかった」、「美味しそうで今年味わうのが楽しみ」』という意見を頂きました。

Z I P-FMでは、たねなし柿はスーパーフード、栄養価が高い、秋バテ予防予防に効く等のPRを行い、本県産たねなし柿の認知向上に努めました。





となりのテレ金ちゃんでのPR

みかんも試食宣伝がんばります!!

12月に入り、本県産温州みかんの出荷が最盛期となります。柿で感染症対策を講じたうえで、試食宣伝販売を実施した場合、店舗、お客様側の評価が高かったため、今後の新型コロナウイルスの動向次第ではありますが、年末需要期にもみかんで試食宣伝販売など効果的な販促活動を計画し、有利販売に努めていきます。